

2011年1月18日付き 長江日報より

春節(旧正月)の移動時期が始まる

今日から、武漢春節の移動時期が始まり、武漢駅の利用人数は昨年の倍になり、ピーク時には、14万人に達すると予測されている。春節移動とみぞれ等の悪天候に対応するため、武漢駅は事前に総合部署を設置した。(切符販売の「实名制」の試験的導入に伴い)、今日から武漢広州高速列車に乗る際、本人が切符と身分証明書を提示することが必要になり、この3つが揃って初めて乗車できることを旅客に呼び掛けている。

今年、春節旅客移動の期間中、武漢駅では毎日高速列車52本、普通列車23本及び特急列車が運行する予定である。ピーク時には利用客数、到着旅客人数は一日で14万人にも達し、平日の旅客人数も4万人から6万人になり、乗客数は去年同期と比べて倍になる見込みである。今年武漢駅は乗客の行先を予想して、成都、上海などの都市がある四川西と華東部への便を増加したが、乗客の流れの大半は広東地域を中心としており、途中下車の短距離チケットの売れ行きが好調であった。

切符の不正な転売等に対処するため、広州と成都などの鉄道局が管理する一部の駅で切符販売の「实名制」試験的に実施する。(1月21日スタート)

2011年1月20日付き 武漢晩報より

2015年武漢市財政収入が2500億元に達す GDP1兆元都市を目指す

今後5年間で、武漢市はGDP1兆元レベルの都市に入る見込みだ。

昨日、武漢市発展改革委員会が武漢市政治協会に武漢市第12次5カ年計画(草案)編成の状況を報告した際、2015年に武漢市財政収入は2500億元以上に達すると話した。

「第12次5カ年」計画中、武漢市は中部中心都市としての地位を固め、国家中心都市を建設することに力を入れ、比較的優勢な近代産業システムを築き、GDP1兆元都市に入る見込みだ。また、国家イノベーションモデルエリアやシステムを構成し、全国的な総合交通機関の要衝となるであろう。

2015年までに、武漢市全社会固定資産投資額は7876億元以上、年間平均増加率は16%、5年間累計は3兆元超え、全市の財政収入は2500億元以上に達し、地方一般予算収入は960億元以上になる見込みだ。

それと共に、武漢市はハイテク産業を重点的に発展させることを目標としている。2015年までに、研究や試験の支出経費は地区生産総量の3%に達し、2010年と比較すると6%増加になる。